

ミンダナオの風

発行：ミンダナオ子ども図書館 編集：松居友

2021年12月：85号



ミンダナオは、相変わらずコロナの影響で、MCLの子どもたちも、対面授業に出られずに、オンラインも活用して授業をしています。ネット環境もよくないので苦労しているようです。また今後の活動の一つとして、西村奈々子さんによるMCLの子ども達と日本の支援者、家族や若者達とのZOOMを使った歓談や、講演なども考慮して、ミンダナオパラポラアンテナの設置を考えています！

日本に滞在して5年、二人の娘も公立の中学を卒業し、長女は、小児科医を目指してサンペドロ病院付属高校に、次女も、日系人会の高校にもとりましたし、妻も、フリーランス特定非営利法人MCLの代表になるには、大卒の資格がなければならぬ、という政府の規定で、大学の社会福祉士学科に入り直して、がんばっています。しかし帰省がままならず、授業は東京で朝から晩までオンラインで受けています……！

妻と私が本部と数年距離を置いたことも、結果的に良く、宮木様さんを中心に、現地スタッフもしっかり自立！ただし、子どもたちは大きくなって我が子のように「早く、ママエープリルとパットも、帰ってきてー」

一方で日本滞在中に、最も気になったのは、日本における子育ての辛さと、青少年の生きづらさ！しかし、若い世代には期待が持てそうなので、帰省前の日本滞在中に、奈々子さんが中心になって、日本の家族や若者たちとも可能な限り、講演やZOOMなどでつながりを持って、帰省後、MCLに支援者の方々や家族や若者たちを、無償で受け入れる事にいたしました。ただし、福祉局と話した結果、コロナ危機が続く限りは、海外からの訪問者の施設内受け入れは難しいとの事！

来年度の不安定な政治や国際情勢も考慮して、まずは、講演やZOOMによる日本での交流から始めて、訪問者受け入れは、2023年以後になりそうです。

MCLのスタッフに 応募したキッカケ スタッフ 西村奈々子

こんにちは。ミンダナオ子ども図書館
スタッフの西村奈々子です。現在は日本
で講演活動をオンライン、時には直接
出向いて行っています。「ミンダナオから
日本へ、届けたいメッセージがたくさん
ある。」私の体験談やMCLの活動、子
ども達の様子を映像を交えながらお届
けしています。

ミンダナオ子ども図書館で働くこと
を決めた私の背景についてご質問をい
ただくことが度々あります。今回はそ
こから、一部抜粋して綴ろうと思いま
す。

1、私が海外へ興味を持ち、知りた
いと思っただきっかけ。2、どうしてミ
ンダナオにしたのか。3、新卒で国際
協力NPOを選んだ理由。それぞれに
溢れる想いやエピソードがあるの
で、ぜひご一読ください。

まず一つ目、「私が海外へ興味を持ち、
知りたいと思っただきっかけ」についてです。
幼少期から、偉人の絵本など、世界
に関わる本が身の周りにありました。
そこから、少しずつ大学生になるにつ



れて世界に興味を持つようになりまし
た。

高校生の頃、漠然と人と違うことが
したい！という好奇心から、両親に頼
みカナダ留学に行かせてもらいまし
た。現地の学校へ通い、アジア人系、
黒人系、白人系が混ざり合う文化に急
に飛び込みました。英語さえままなら
なかった私にとって、そこは異世界で
世界の広さを体感する場所でした。「こ
んなに多様な世界があるんだ！」ワク
ワクした感覚とちょっと世界を知りた
い！と沸々と湧いてきた好奇心を覚え
ています。

次に興味を持ったのは、貧困地域・発
展途上国でした。きっかけは大好きな子
どもが犠牲になるのが、あまりに苦しく
辛い。

けれど、その地域で子ども達のため
に活動している日本人社会活動家さん
がいることを知ったことです。MCL
の松居友さんを知ったのもこの頃で
す。現地の活動の様子を見てみると、
子ども達の笑顔がキラキラと眩しい！
貧困地域で生活も苦しいはずなのに、
私が見たのは綺麗な真っ直ぐな笑顔の
子ども達の映像や写真。「会いたい！
私もその世界を知りたい！」またまた
止まらぬ好奇心を後押ししてくれた父
と母の存在もあり、その想いを胸にさ
まざまな国を訪れました。

ケニアを訪れた際、アフリカ最大級の
スラム街、キペラスラムには今日を生き
ることがやっとの貧しい暮らしを強いら
れた人々がいました。

犠牲となる子ども達が駆け込んで来
られる寺子屋「マゴソスクール」を訪
れました。そこにくる子ども達は、教
育が受けられないだけでなく、虐を受
けたりストリートで生活していた子で
す。勉強できる！と喜び、身を乗り出
して勉強する姿。ご飯を分け合っ
てみんなで食べ、そのあとはみんなで歌っ

て踊りました。

透き通った瞳がキラキラと輝き、エ
ネルギーに満ちていました。「生きる
力ってこのことだ！」そう強く感じま
した。この生きる力は、のちに訪れた
ルワンダ、ミャンマー、ミンダナオの
子ども達からも、同じように強く感じ
ました。

ルワンダでは、シングルマザーの雇
用支援をしている「KISEKI」でボラ
ンティアを経験しました。幼稚園で先
生として新事業の開発に関わらせても
らい、10歳の小さな命に触れました。
国を超えても、肌の色が違っても、
子ども達は私を拒否することなく遊ん
だり、身を委ねてくれます。こうして
生まれてくる小さな命が元気に育ち、
可能性を羽ばたかせられる世界を創り
たい。改めて、そう夢を抱く経験とな
りました。



ゆうちょ振り込み口座 00100-0-18057 : 加入者名 『ミンダナオ子ども図書館』

(銀行振込、ネットバンキングも可能です) ■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900

■店番 019 ■預金種目 当座 ■店名 ○一九店(ゼロイチキユウ店) ■口座番号 0018057

サイトからクレジットカードによる単発と各月自動寄付が可能になりました!

詳しくはウェブサイト「ミンダナオ子ども図書館日記」をクリック!

ミャンマーでは、養育施設「ドリームトレイン」でインターンを経験。子ども達とじっくり対話し、遊んでいく中で、一人ひとり得意なことや好きがあつて、それが可能性へと変わってゆくことを教えてもらいました。

「二つ目には、これまで沢山の魅力的な国を訪れた中で、「どうしてミランダナオにしましたのか。」という質問をよくいただきます。正直、一言で言えることは、直感です。よく考えると、私の、幸せの価値観と一番合っていたのだと思います。

ミランダナオは、今の私ありのままを受け入れてくれる。なんだか心地が良い。その理由はMCLの子ども達も、日本からの訪問者を家族として受け入れてくれたからです。一緒にご飯を食べ、遊んで、家事をして、眠る。そんな当たり前にも見える幸せが、一人っ子で親も忙しかった私にとって、かけがえのない幸せでした。



「心と心で対話すること、大自然と共に生きること。日常を楽しむこと。ミランダナオの人々は貧しくとも、本当の幸せを知っている。見失わずにいれば、きっと幸せになれる大切なことをいつも教えてくれる。だから私もここで共に生きたい。」そう思い、ミランダナオで活動することを決めました。

最後に、「新卒で国際協力NPOを選んだ理由」についても特に同世代からよく質問をいただきます。まず、以上で書いてきた通り、私が生きたいと思える環境だったから選んだというのが一つです。

次に、今の日本の就活が私には合わないと感じたからです。日本企業で、書類を出して少しの時間面接をしたのち、合否をつけられる。私はこの方法に違和感を感じたので、違う方法を選びました。

もちろん、いろんな企業を調べて受けられることは、一方では可能性を掴むチャンスでもあると思います。ですが、私は何度悩んでも悩んでも、「MCLで働いてみたい！実際に現場に入ってみたい！」という強い想いがあつたので、この選択をしました。

ここでは、途上国の子ども達の可能性について綴ってきたのですが、日本

の若者も同じです。何だってできる、何にだってなれる！一人ひとりが可能性に溢れています。何歳になっても、心さえ若者のままであれば、それは同じことが言えるとも思っています。

だったら、何度悩んでも、一番自分が納得する道を歩みたい。そして自分の可能性を信じてあげたい。それで失敗しても、きつと後悔しない。必ず成長へ繋がるから。

加えて、いつも応援してくれる家族の存在があります。私の挑戦を応援し、可能性を信じ続けてくれているからこそ、自分の道を生き続けられています。

しばしば、学生さんから、親が危ない国に行くのは心配だ、と言って思うように渡航できないと言ったお話を聞きます。それでも、やりたいこと、行きたい想があれば、それを伝えてみてください。きつと少しずつでも、前に進むと信じています。



そしてもし、ミランダナオ子ども図書館を訪れる際は、スタッフが空港まで迎えに行きMCLではみんな一緒なので安心。活動へ同行する際も、現地スタッフも一緒なので、安全に配慮して訪問していただけます。

飛行機代以外の滞在費や食費は全て無料なので、ぜひコロナが落ち着いたらいらしてくださいね。MCLの子ども達も、日本の皆さんが来ることをいつも心待ちにしています。訪問再開しましたら、こちらの機関紙からお知らせいたします。

それまでは、私も日本での活動に精進して参ります。日本にいてもミランダナオの子ども達を近くに感じてもらいたいです。毎月2回オンライン講演会を行っています。子ども達の生活の様子や、ピオメッセージなど、思わず笑顔が溢れる内容となっております。

ミランダナオ子ども図書館メールアドレスより、毎月開催日時をお知らせしています。ぜひ、ふるってご参加ください。皆様と、オンラインを通じてお話できることを楽しみにしております。また、その他一般の講演のご依頼も気軽に西村奈々子 nanako.525.nyaa@gmail.com まで、ご連絡ください。今後、ぜひよろしくお願いいたします。

日本における MCL スタッフによる講演や家庭集会、若者による公演等！

また、MCLの現地の子どもたちやスタッフとのZOOM歓談や講演などの希望を含めて、

講演や歓談や公演等に関するご質問やご希望は、
メールで日本人スタッフの西村奈々子さんに！

メール nanako.525.nyaa@gmail.com 日本人スタッフ：西村奈々子

Mindanao Children's Library Foundation, Inc.



貧しいからといって、必ずしも不幸とは限らない
私たちの生活の方が、豊かな国の人々の生活よりも
はるかに美しいと感じるときだってある。
けれども、どうにもならないのが、たべられないときと、
お金が無くて学校に行けないとき、病気になるても治せないとき・・・



ミンダナオ子ども図書館支援方法

1、自由寄付医療や読み聞かせ等の活動全般にかかる経費と子供たちの生活費を支援

直接下記の振替口座をお願いします。寄付をくださった方には隔月に機関誌『ミンダナオの風』と時には機関紙に代わってMCLで企画した絵本をお届けいたします。

自由寄付は、貧困集落に住んでいる子供たちの薬から手術に至るまでの医療費。まだ支援者が見つかっていないにも関わらず、放っておかず採用している100名ほどの奨学生達の学費。保護を必要として、MCL本部や下宿小屋に住み込んで学校に行かせている200名ほどの奨学生の生活費。ガソリン代を含む活動全般の諸経費に充てています。

機関誌を楽しみにしている方の場合、わずかな寄付でもお送りします。

他の方々に紹介していただければ幸いです。不要の方は、宮木梓か前田容子までご一報ください。

2、植林農業環境支援・・・6万円(ヤシ、ゴム、カカオ植林等、現地作業代こみ)

洪水対策と先住民族が土地を手放さないようにするための、経済自立支援です。

3、保育所建設支援・・・半セメントと竹壁90万円 総セメント130万円

(福祉局の要望によりスタンダードにしました)

開所式の参加や訪問も可能です。毎年チェックし修理をしていきます。

スカラシップ支援(現在約300名)

ミンダナオ子ども図書館のスカラシップは、成績よりも孤児や片親、母子家庭や崩壊家庭の子、親がいても兄弟が多く学校にいけない子を採用の基準とし大学まで通えます。特に何らかの事情で保護を必要としている子や大学生は、本部や下宿に住み生活を保障(現在約200名)。支援には学費の他に、医療費、制服、学用品、小遣い、下宿代、生活費等が入っています。

1、大学生スカラシップ支援・・・年額72000円(月額6000円)

2、高校生スカラシップ支援(日本の中高生)・・・年額60000円(月額5000円)

3、里子支援(小学生)・・・年額42000円(月額3500円)

奨学金は物価高騰もあり、2020年より小学校と大学のみ2000円加えた額に変更しました。

継続支援の方で変更を希望されない方は、以前の額で結構です!

振り込み用紙の通信欄に「大学」または「高校」「里子」等の希望を書いて振り込んでいただければ、現地スタッフの宮木梓よりお便りします。その後、機関誌に同封して、スナップ写真と成績表(各年)、高校・大学生の場合は本人からの手紙(英語)、12月には自分で描いたクリスマスカードが届きます。プレゼントや文通も可能です。日本語の手紙は、現地で翻訳して当人に渡しています。返事は英語ですが、里子の場合は、字を読んだり書けない子も多く絵手紙での返事です。プレゼントも届けます。

事前の紹介や希望、訪問などのご相談は、メールで現地スタッフの宮木梓(あずさ)さんか、

FAXで日本事務局の前田容子さんに!訪問の際は、ダバオ空港にお迎えに行き、

MCLに宿泊していただき、奨学生の自宅にもご案内します。宿泊費はとりません。

メール mclmindanao@gmail.com 現地日本人スタッフ:宮木梓(あずさ)

FAX: 0743 74 6465 日本事務局 前田容子

ゆうちょ振り込み口座 00100-0-18057: 加入者名 『ミンダナオ子ども図書館』

(銀行振込、ネットバンキングも可能です) ■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900

■店番 019 ■預金種目 当座 ■店名 ○一九店(ゼロイチキユウ店)

■口座番号 0018057

サイトからクレジットカードによる
単発と各月自動寄付が可能になりました!
有名な決済会社のサイトなので、個人情報流出することはありません!

詳しくはウェブサイト

「ミンダナオ子ども図書館:日記」をクリック!

現地住所: Mindanao Children's Library Foundation, Inc.
Brgy. Manongol Kidapawan City North Cotabato 9400 Philippines